# 救急対応委員会

永　瀬　正　樹

**キーワード：**ハリーコールのマニュアル；初期心肺蘇生院内教育；出前講座
（雲南市立病院医学雑誌　2019; 16(1): 179-180）

## はじめに

院内・院外にかかわらずいつ患者様に急変が起こるか、それは誰にもわからない。急変時には一分一秒を争う状況もまれではない。当委員会は2017年より組織された比較的新しい委員会であり、そういったemergencyな状況に対して迅速かつ適切な処置が実施できるよう対策を講じる組織となっている。メンバーは、医師・看護師・放射線技師、リハビリテーションスタッフと医療事務など多種多様の職種で構成されている。

## 委員会の活動概要

我々も日々の業務の中、外来で診療を待つ間に意識障害を起こす患者、入院中の思いがけない急変（誤嚥やけいれんなど）に遭遇することがある。突然の出来事に慌てることなく対応するため、ハリーコール（院内急変における医療スタッフ招集アナウンス）などのマニュアル作り（**図１**）や心臓マッサージ、人工呼吸などの初期心肺蘇生を院内スタッフへ周知・徹底、教育を行い（**図２**）、医療の質の向上を図り、病院に関係する全ての人に安心してもらえるように日々精進している。職員を対象にした心肺蘇生に関する意識調査を啓発活動の前後で行い、委員会活動にフィードバックしている。また、院外活動にも注力しており、出前講座では市内の小学校などに出向き、様々な市民活動にも取り組んでいる（**図３**）。

## これまでの実績と今後への抱負

当委員会が発足以降、2017年から2019年４月までの期間に、ハリーコールは計11回要請があった。気分不良で意識が遠のく、呼吸が苦しい、突然の心停止など症例は様々であり、残念ながらすべての患者を救命できたわけではない。力及ばない事例もあった。しかし、１例１例振り返りを行い、事後検証を繰り返すことで、より良い医療を提供できるように、また、患者や家族を含めた全ての病院利用者が安心して通院および入院生活を送ってもらえるよう、スタッフ一同、常に努力してゆきたいと思っている。当委員会はこれからも地域に親しまれ、信頼され、愛される病院を目指していくことを約束し続けたい。

図１　院内の各所に掲示した急変時一斉放送コールの方法

雲南市立病院救急対応委員会、同内科
著者連絡先：永瀬正樹　雲南市立病院内科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp

図２　急変対応講習会

図３　出前講座

# Present status of the committee for in- and out-of-hospital emergency medical system in Unnan City Hospital.

Masaki Nagase

Committee for in- and out-of-hospital emergency medical system, Department of internal medicine, Unnan City Hospital
Correspondence: Masaki Nagase, MD, Department of internal medicine, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp